

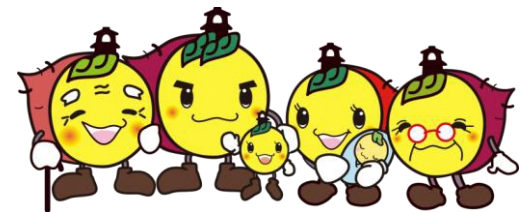
川越市

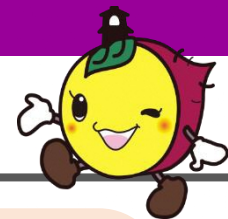
平成29年度決算のポイント



川越市シンボルマーク

平成30年8月





1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,147億8,923万1千円

(対前年度比 26億6,361万5千円増)

【歳出】

一般会計

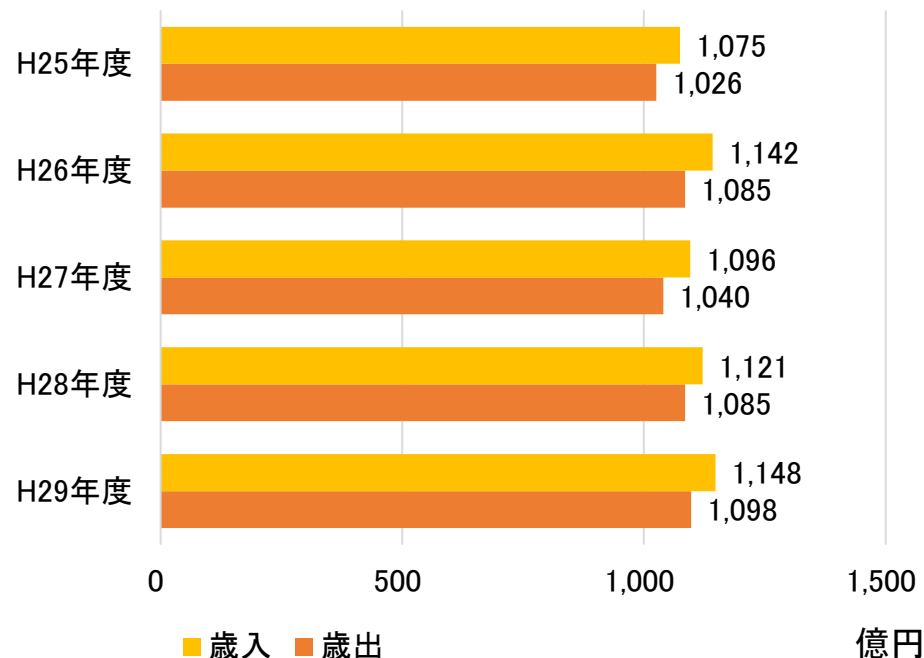
1,097億6,750万8千円

(対前年度比 12億5,660万7千円増)

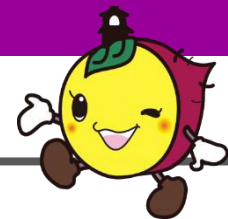
※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約27億円、歳出では約13億円増加しました。
- 歳入は、市税の増とともに、投資的経費の増に伴う国庫支出金、市債等の増加により、歳入全体として対前年度比で2.4%増加しました。
- 歳出は、新学校給食センター施設整備を含む投資的経費が増加した結果、歳出全体として対前年度比で1.2%増加しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



億円



2 決算の収支

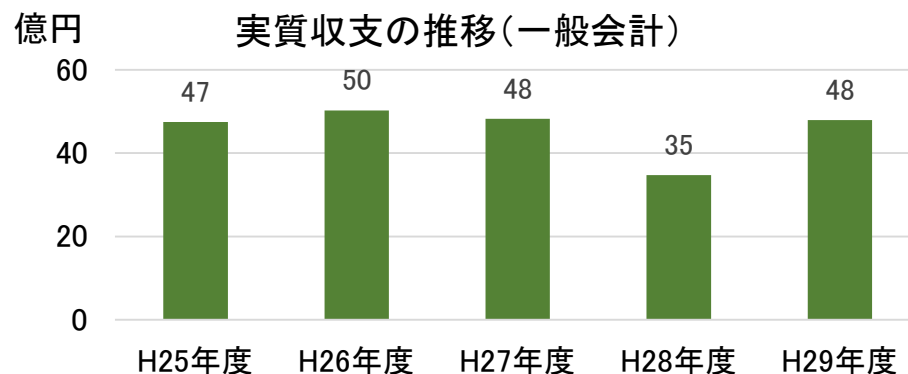
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
28	112,125,616	108,510,901	3,614,714	142,336	3,472,378
29	114,789,231	109,767,508	5,021,722	226,866	4,794,855
比較	2,663,615	1,256,607	1,407,008	84,530	1,322,477

※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

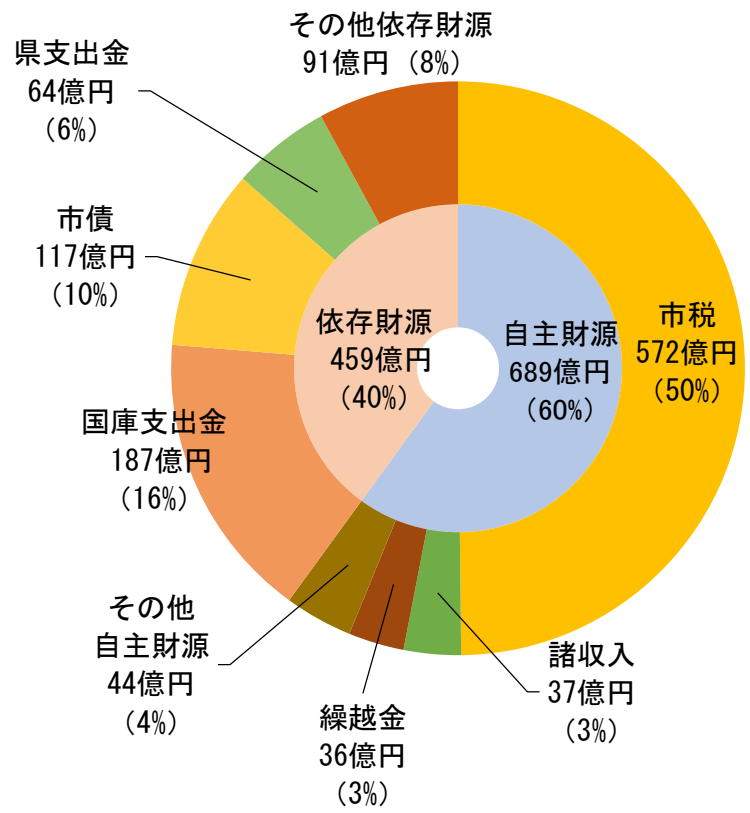
- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、47億9,485万5千円になりました。
- 平成28年度と比較すると実質収支は13億2,247万7千円の増加です。





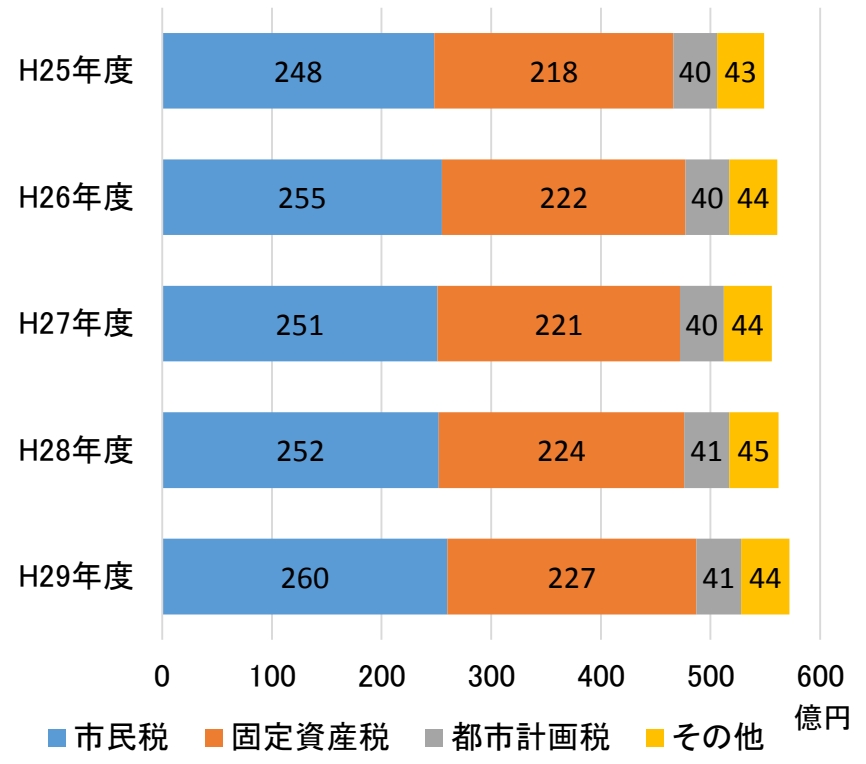
3 一般会計歳入の内訳

歳入

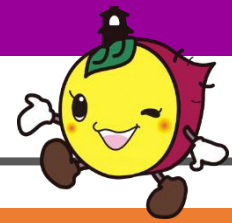


- 市税収入が全体の50%を占めるとともに、自主財源の比率は、前年度に引き続き60%台で推移しています。

市税収入の推移

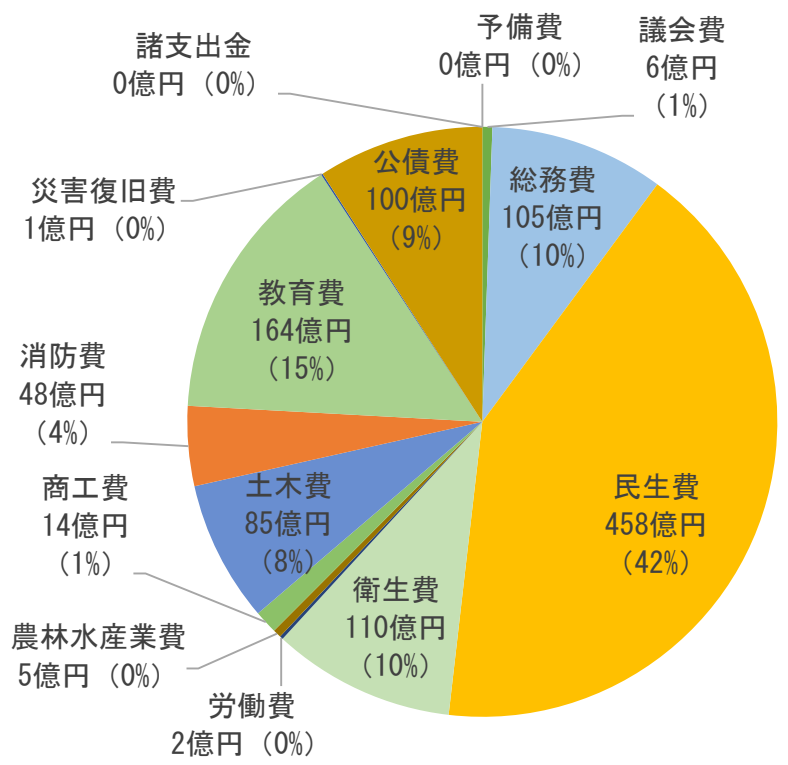


- 平成29年度は、市民税、固定資産税等の増により市税収入全体で、対前年度比で1.7%増加しました。



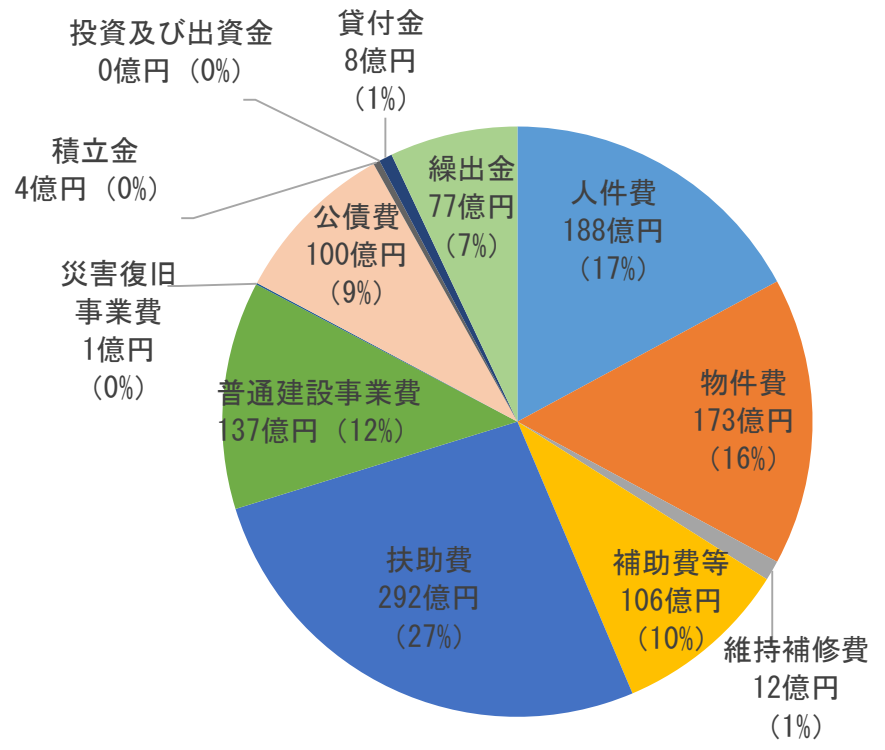
4 一般会計歳出の内訳

歳出（目的別）



- 民生費が全体の4割を占めています。
- 教育費は、新学校給食センター施設整備等により対前年度比で約42億円の増となりました。

歳出（性質別）



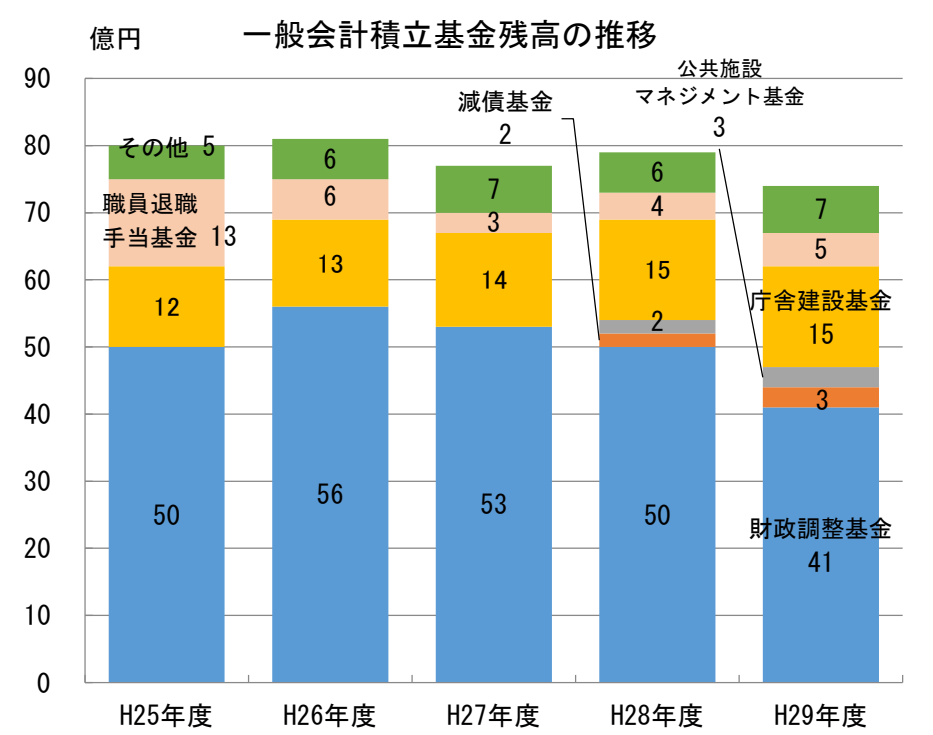
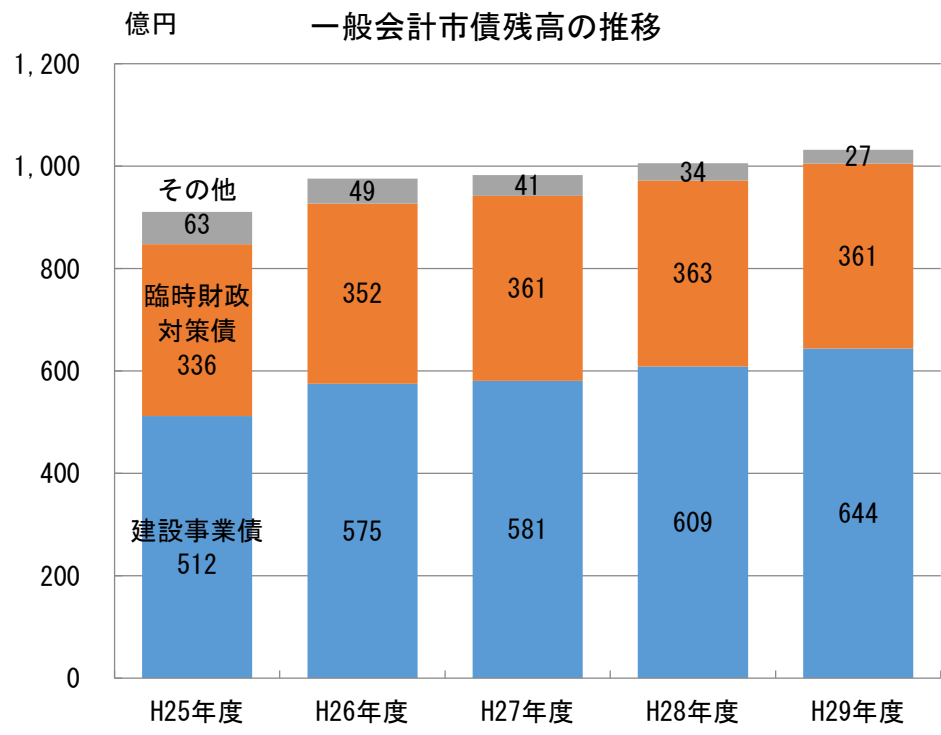
- 扶助費が全体の1/4を占めています。
- 普通建設事業費は、新学校給食センター施設整備等により対前年度比で約14億円の増となりました。



5 市債残高及び積立基金の状況

市債残高の状況

積立基金の状況



- 市債残高は、新学校給食センター施設整備や新河岸駅周辺整備などの実施等に伴い、増加傾向で推移しています。

- 平成29年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約5億円減少しました。



6-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに向けた施策を進めました。
- 福祉・保健・医療の分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

地域生活支援拠点事業

障害者の「親亡き後」等の将来の不安に関する相談や、家族や支援者等に緊急事態が生じた場合の対応等の機能の整備を推進するため、障害者地域生活支援拠点事業を試行的に開始しました。

決算額: 4,600千円



(担当部署: 障害者福祉課)

保育所等建設補助

社会福祉法人等が行う保育所等の新設や増改築に対して補助金を交付しました。平成29年度分の入所定員数は170人増加しました。

決算額: 599,507千円



(担当部署: 保育課)

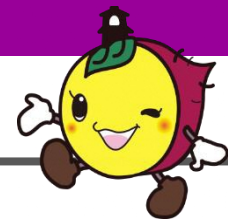
ラジオ体操フェスタ

ラジオ体操による健康づくりの気運を高めることを目的として、ラジオ体操を推進している関係団体や県内自治体と連携して、ウエスタ川越において「ラジオ体操フェスタ2017in川越」を開催しました。

決算額: 1,177千円



(担当部署: 健康づくり支援課)



6-2 主な事業の成果【教育】

- 教育分野では、快適な教育環境を整備するための取組を推進しました。
- 安全・安心でおいしい給食を安定的に提供するため、学校給食の充実を図りました。

学童保育室の整備

施設の狭あい化や老朽化などに対応するため、平成29年度は、川越第一学童保育室や大塚学童保育室の改修工事等を実施しました。また、南古谷小学校の校舎増築に合わせて南古谷学童保育室の改築工事が完了しました。

決算額：48,880千円

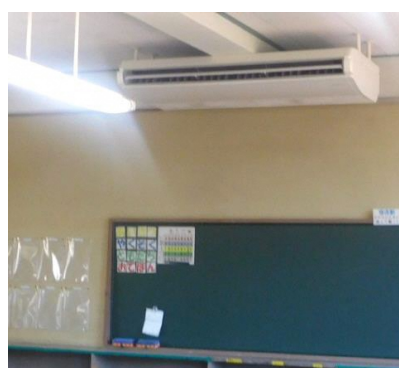


(担当部署：教育財務課)

小・中学校普通教室空調設備整備

平成29年度は小学校15校に空調設備を設置するとともに、中学校に空調設備を導入するための設計等を行いました。平成30年度にはすべての小・中学校普通教室に、空調設備の設置が完了する予定です。

決算額：879,924千円



(担当部署：教育財務課)

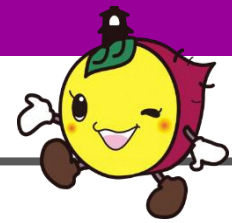
学校給食センター施設整備

PFI事業として平成27年度から実施している新学校給食センター施設整備について、平成29年7月に建設工事が完了し、9月から菅間第二学校給食センターとして運営を開始しました。

決算額：4,462,789千円



(担当部署：学校給食課)



6-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤】

- 都市基盤・生活基盤分野では、駅施設の改善や、地域の特性にあった生活拠点の整備に向けた施策を推進しました。
- 台風第21号で被害を受けた江川流域都市下水路等の復旧工事を行いました。

台風第21号関連災害復旧事業

決算額: 58,100千円

台風第21号により被災した江川流域都市下水路や準用河川久保川の復旧工事を実施しました。
また、平成30年度も引き続き復旧工事を行います。



(担当部署: 河川課)

東武東上線川越駅ホームドア設置工事負担金

決算額: 73,316千円

駅利用者のホームからの転落防止を図るため、東武東上線川越駅ホームドア設置事業に対して、その費用の一部を負担しました。
ホームドアは、平成30年3月に使用が開始されています。



(担当部署: 交通政策課)

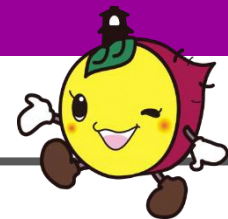
新河岸駅駅舎及び自由通路等整備

決算額: 1,594,070千円

新たな新河岸駅駅舎及び自由通路について、平成29年12月に供用を開始しました。また、新河岸駅東西駅前広場及び駅前通り線については、西口は平成29年12月、東口は平成30年3月に供用を開始しました。



(担当部署: 新河岸駅周辺地区整備事務所)



6-4 主な事業の成果【産業・観光、市民生活】

- 産業・観光分野では、地域経済の活性化に向けた取組や観光客の受入環境の整備に係る施策などを推進しました。
- 市民生活の分野では、災害体制等の充実に係る施策を推進しました。

産業観光館昭和蔵改修事業

産業観光館昭和蔵を埼玉県内35蔵の日本酒を揃えた体験型飲食・物販施設「ききざけ処」としてリニューアルし、新たな魅力の創出を図りました。

決算額: 45,770千円



(担当部署: 産業振興課)

防災行政無線デジタル化整備

平成31年度までの3年間の継続費事業として、防災行政無線を現行のアナログ方式からデジタル方式への更新整備に着手しました。

決算額: 220,681千円



(担当部署: 防災危機管理室)

観光案内

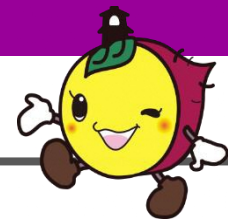
平成29年3月にリニューアルした川越駅観光案内所の案内業務の充実を図りました。

決算額: 56,674千円

また、みんなで支える観光基金を活用した取組や、川越の認知度の向上等を目的とした観光プロモーションを実施しました。



(担当部署: 観光課)



6-5 主な事業の成果【その他】

- その他の分野では、本市の魅力や特性を積極的に発信する取組や、東京2020オリンピックに向けた取組を実施しました。
- 地方創生に関する取組として、子育て世代を支える安心の拠点づくりを推進しました。

大会機運醸成事業

大会の開催に向けた機運を高めるとともに、大会を契機とした市の活性化につなげるため、2017オリンピックデーラン川越大会の開催や、カウントダウンボードの設置等に取り組みました。

決算額：6,560千円



(担当部署：オリンピック大会室)

子育て安心施設整備

子育て世代の利便性を高め、安心して子育てができるよう、駅周辺に保育機能を併せ持つ子育て支援施設を整備します。平成29年度は、施設整備に向けた基本設計を実施しました。

決算額：10,778千円



(担当部署：地域創生課)

ユネスコ無形文化遺産関連事業

川越氷川祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、山車・町名立札の作成や、川越まつり会館及び川越まつり公式サイトのリニューアル事業を行いました。

決算額：13,243千円



(担当部署：観光課)



(参考) ふるさと納税の状況

平成29年度は、540件、2,212万5千円の寄附金をいただきました。これらの寄附金は、本市の魅力あふれるまちづくりに活用させていただきました。

目的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関すること	130	2,550千円
	福祉・保健・医療に関すること	62	1,431千円
	教育・文化・スポーツに関すること	31	645千円
	都市基盤・生活基盤に関すること	22	451千円
	産業・観光に関すること	50	1,050千円
	環境に関すること	23	480千円
	地域社会・市民生活に関すること	13	360千円
	住民自治・行財政運営に関すること	2	20千円
基金	みんなで支える観光基金	50	1,030千円
	文化芸術スポーツ振興基金	17	480千円
	大学奨学金基金	13	10,210千円
一般寄附		127	3,418千円
合計		540	22,125千円

寄附金の推移(個人)

